

次回予告

グランシップ

世界のこども劇場 2023

8月4日(金)~6日(日)  
グランシップ 中ホール・大地

夏休みは、世界中で人気の演劇・パフォーマンスを楽しめるグランシップへ!

▶「風のみた夢~WIND'S DREAM~」to R mansion(トゥールマンション) (日本) 10:00~10:50

北欧からやってきたベイビーシアターのバイオニア、ダリア・アチン・テランダーが国内外で人気のフィジカルシアターカンパニー to R mansionとタッグを組んだ、赤ちゃんと大人のためのパフォーマンスアーツ。

上演時間:50分 対象年齢:0歳~1歳6ヵ月までのこども、その保護者



©金子愛帆

▶「パレイドリア」LA LLAVE MAESTRA(ラ・ヤーベ・マエストラ) (チリ+スペイン) 11:30~12:40

世界各地の劇場や演劇祭で、類を見ない表現方法と詩情あふれる世界観で人気のステージ。生活の中で目にするものが、形を変えてコミカルに登場。バレエのチュチュがダチョウに、ピニールが火山に変身。大いなる遊び心で身の回りにある物語を見つける、言葉を超えた想像の世界。

上演時間:70分 対象年齢:5歳~



©Michael Galvez

▶「へんてこうじょう」to R mansion(トゥールマンション) (日本) 14:00~14:50

世界をよ~く見てみたら、へんてこな物や、へんてこな人で溢れてる。「へんてこ」はスペシャルな個性、誰もが持つる宝物。オモシロへんてこをいっぱい見つけて集めて楽しもう!!みんなでへんてこ体操を踊ったり、光を使って地図を浮かび上げらせたり、五感と身体と想像力を刺激して、笑いど驚きいっぱいの「へんてこうじょう」で一緒に遊ぼう!

上演時間:50分 対象年齢:4歳~



©金子愛帆

■全席自由

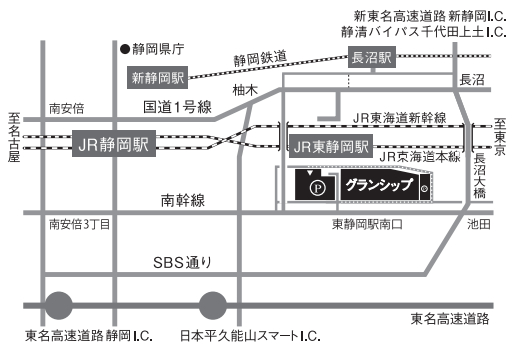
《1ステージにつき》おとな**1,500円** こども**500円**(小学生) 中高生・大学生**1,000円**(28歳以下)

チケット販売:6/4(日)~ ※「風のみた夢」のみ事前申込制/当日支払い ※全ステージ0歳~入場可(0歳児無料)

交通アクセス

- JR東静岡駅南口隣接
- 静岡鉄道長沼駅徒歩10分
- 東海道新幹線(ひかり)で東京・名古屋から1時間、新大阪から2時間  
JR静岡駅乗換、東静岡駅まで3分
- 車では東名高速道路静岡I.C.から20分  
日本平久能山スマートI.C.から10分  
新東名高速道路静岡I.C.から15分  
静岡バイパス千代田上土I.C.から10分

※公演当日は混雑が予想されますので、公共交通機関をご利用ください。



〒422-8019 静岡市駿河区東静岡二丁目3番1号  
グランシップ指定管理者:公益財団法人静岡県文化財団  
<https://www.granship.or.jp/>

なまえ



# 文楽 わんだーらんど

ぶん らく

文楽の  
おすすめ。

グランシップ

にっぽん  
こども  
劇場 2023

NIPPON KIDS THEATER in Shizuoka  
小さな胸にぎざんだ感動は、生きる力になる。

ぶんらく  
を身近に、

こどもにはこどもの  
楽しみかたがある。

2023年 7月9日(日) グランシップ 中ホール・大地  
(JR東静岡駅南口隣接)



■主催:公益財団法人静岡県文化財団、静岡県 ■後援:静岡県教育委員会、静岡市教育委員会  
■協力:公益財団法人文楽協会

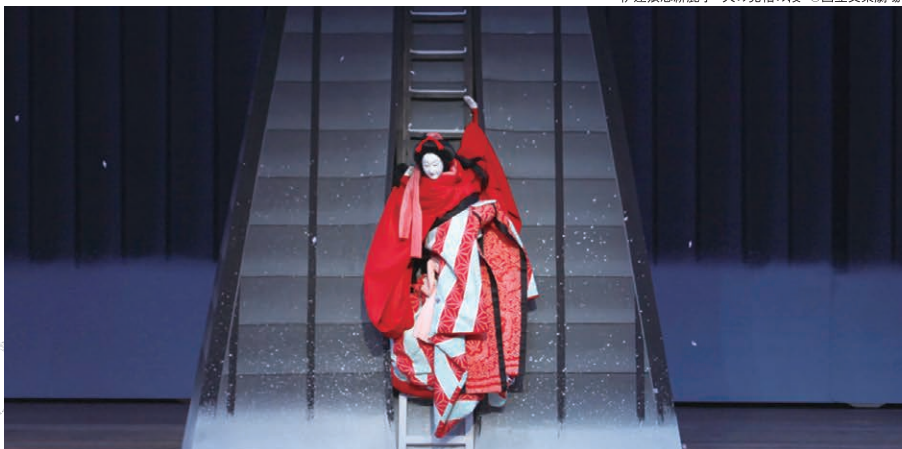


# ぶん らく ～文楽わんだーらんど～

●11:00～12:15 / 14:00～15:15

江戸時代の大坂(大阪)で生まれた文楽は、浄瑠璃という音楽と人形芝居が結びついてできた世界でも珍しい、日本のすぐれた伝統芸能。  
太夫と呼ばれる人が物語を語り、三味線の音が情景や登場人物の感情を表現。三人の人形遣いが一体となってあやつる人形が、まるで生きているかのように演じられます。

伊達娘恋緋鹿子 火の見櫓の段 ©国立文楽劇場



だておすめ こいの ひがのこ ひ み やぐら だん  
演目:「伊達娘恋緋鹿子 火の見櫓の段」

必死に「火の見やぐら」に登ろうと  
がんばる、ヒロイン「お七」。  
一体何があったのでしょうか？

《出演》



竹本織太夫 (太夫) 鶴澤清志郎 (三味線) 吉田一輔 (人形遣い)

おもいでスタンプ

## ほんものの文楽公演とワークショップ。 世界に認められた日本の文化にふれてみよう。

### 文楽をはじめて観るこどもたちも(おとなも!)楽しめる4つのポイント!



#### 1 わかりやすい解説

お芝居が始まる前に、「人形浄瑠璃 文楽」の舞台をつくりあげる3つの役割(太夫、三味線、人形遣い)についてわかりやすく解説。

《文楽のまめ知識》

文楽は大阪生まれ。  
だから、大阪弁で  
語っているんだって!



#### 2 文楽人形の体験と記念撮影

美しい文楽人形を持ってみよう。イメージするより大きく重いかも!実際に体験することで、人形遣いのむずかしさがわかるよ。人形と一緒に記念撮影しよう。

太夫はひとりで  
たくさん的人物を  
語り分けるんだよ。



#### 3 肩衣を着けて、記念撮影

太夫と三味線が舞台に出る時に着る肩衣を着けて、記念撮影。太夫が使う床本や日本の楽器・三味線を近くで見よう。

文楽の三味線は  
サイズが大きいから、  
低くて大きな音が  
出るんだ。



#### 4 舞台裏を探検

普段は見ることのできない舞台裏に入ってみよう。舞台装置を使って雪を降らせたり、火の見櫓に登る体験も!

人形遣いは  
3人一組で  
ひとつの人形を  
動かすよ。



◆全席自由 / (事前申込制、当日支払)

※対象年齢:4歳～ ※3歳以下入場無料

おとな**1,500円** こども**500円**(4歳～小学生) 中高生・大学生**1,000円**(28歳以下)

対象年齢について

◎0歳児からご入場いただけます。  
ただし、小さなお子さまが泣いてしまうなどの際には、落ち着かれるまでロビーへの移動をご案内する場合がありますのでご了承ください。

お申し込み

グランシップホームページ専用申込フォームからお申し込みください。  
<https://www.granship.or.jp/>



お問い合わせ

グランシップチケットセンター TEL.054-289-9000 (10:00～18:30/休館日を除く)

客席への入場について

◎客席内はくつを脱いでござの上で鑑賞します。 ◎開演時間の15分前までにご来場ください。  
◎車椅子でご来場の方はご連絡ください。(TEL.054-203-5714) ◎都合により出演者や内容が変更になる場合があります。